



2023年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月12日

上場会社名 株式会社 サイゼリヤ

上場取引所 東

コード番号 7581 URL <https://www.saizeriya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松谷 秀治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長兼財務部長 (氏名) 潮田 淳史 TEL 048-991-9611

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績(2022年9月1日～2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	132,103	23.1	3,568	236.3	3,947	60.6	2,656	59.6
2022年8月期第3四半期	107,346	12.6	1,061		10,008	285.8	6,576	380.4

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 1,266百万円 (87.9%) 2022年8月期第3四半期 10,421百万円 (195.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	54.43	54.23
2022年8月期第3四半期	134.69	134.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期第3四半期	150,455	94,353	62.4	1,924.29
2022年8月期	147,930	94,523	63.5	1,920.73

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 93,847百万円 2022年8月期 93,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期		0.00		18.00	18.00
2023年8月期		0.00			
2023年8月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,200	22.8	6,100	1,342.1	6,100	43.4	4,200	25.8	86.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期3Q	52,272,342 株	2022年8月期	52,272,342 株
期末自己株式数	2023年8月期3Q	3,502,448 株	2022年8月期	3,391,883 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期3Q	48,808,226 株	2022年8月期3Q	48,825,088 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動の緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や世界的な資源価格の高騰、円安による物価の上昇等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症への行動制限が緩和されたことで、経済活動の正常化が進み始め個人消費は回復の基調を見せつつありますが、慢性的な人手不足に加え資源価格の高騰と円安による食材価格やエネルギー価格の上昇の影響により、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、真のチェーンストアに向かって動き出しました。2022年10月には、問題解決のスピードを上げていくため、トップ直属のラインスタッフであるスーパーバイザーを設置いたしました。2023年4月には吉川工場を改装し、新商品開発を目的とした設備などの稼働を開始いたしました。今後、店舗作業・商品・組織の改革に着手し、収益力の底上げを行ってまいります。また、フードロスの削減、エネルギーの効率化による省エネ、プラスチックの再利用等、SDGsに取り組み、ESGを重視した経営活動を行ってまいりました。新たな立地の開発も推進しており、2022年12月には島根県1号店としてゆめタウン出雲店、四国1号店として香川県にイオンモール綾川店、2023年5月には、青森県1号店としてELM（エルム）店を出店いたしました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,321億3百万円（前年同期比23.1%増）、営業利益は35億68百万円（前年同期比236.3%増）、経常利益は39億47百万円（前年同期比60.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億56百万円（前年同期比59.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

新型コロナウイルス感染症への行動制限が徐々に緩和されたことで、客数は増加傾向にあります。しかしながら、資源価格の高騰と円安による食材価格やエネルギー価格の上昇の影響を受けており、売上高は874億53百万円（前年同期比18.6%増）、営業損失は15億77百万円（前年同期は21億77百万円の営業損失）となりました。

②豪州

当社で使用する食材の製造等を行っており、売上高は54億7百万円（前年同期比40.8%増）、営業利益は1億86百万円（前年同期比600.8%増）となりました。

③アジア

中国政府のゼロコロナ政策による度重なるロックダウンの影響はあるものの、新規出店を継続的に進め、店舗数が増加したことなどにより、売上高は446億34百万円（前年同期比32.8%増）、営業利益は49億61百万円（前年同期比62.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,504億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億24百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加27億65百万円などです。

負債合計は561億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して26億95百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金の増加18億51百万円、賞与引当金の増加10億5百万円、リース債務の増加8億4百万円などです。

純資産合計は943億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億70百万円の減少となりました。この結果、自己資本比率は62.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の連結業績予想につきましては、2023年4月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,275	63,041
売掛金	1,089	1,319
テナント未収入金	1,493	1,655
商品及び製品	10,093	10,174
原材料及び貯蔵品	1,512	1,266
その他	4,470	4,189
流動資産合計	78,935	81,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,482	25,159
機械装置及び運搬具（純額）	1,527	1,471
工具、器具及び備品（純額）	4,086	3,766
土地	6,971	6,962
リース資産（純額）	57	49
使用権資産（純額）	13,669	14,387
建設仮勘定	692	405
有形固定資産合計	52,487	52,203
無形固定資産		
	367	332
投資その他の資産		
投資有価証券	279	279
敷金及び保証金	10,547	10,528
建設協力金	51	32
長期貸付金	30	30
繰延税金資産	5,069	5,272
その他	174	140
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	16,140	16,271
固定資産合計	68,994	68,807
資産合計	147,930	150,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,769	7,620
1年内返済予定の長期借入金	—	12,500
リース債務	5,779	5,795
未払法人税等	2,160	933
賞与引当金	930	1,935
株主優待引当金	218	267
資産除去債務	286	306
その他	7,696	7,931
流動負債合計	22,840	37,290
固定負債		
長期借入金	12,500	—
株式給付引当金	1,114	1,208
リース債務	9,240	10,029
繰延税金負債	33	4
資産除去債務	7,560	7,464
その他	116	106
固定負債合計	30,566	18,812
負債合計	53,407	56,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	10,872	11,039
利益剰余金	73,114	74,879
自己株式	△7,143	△7,723
株主資本合計	85,455	86,807
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,430	7,039
その他の包括利益累計額合計	8,430	7,039
新株予約権	637	505
純資産合計	94,523	94,353
負債純資産合計	147,930	150,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)
売上高	107,346	132,103
売上原価	39,394	52,395
売上総利益	67,951	79,707
販売費及び一般管理費	66,890	76,139
営業利益	1,061	3,568
営業外収益		
受取利息	187	430
為替差益	544	-
保険金収入	1	1
補助金収入	8,625	152
雇用調整助成金	1	9
その他	129	439
営業外収益合計	9,489	1,033
営業外費用		
支払利息	311	381
為替差損	-	66
自己株式取得費用	-	4
デリバティブ評価損	199	-
その他	29	202
営業外費用合計	541	654
経常利益	10,008	3,947
特別利益		
補償金収入	32	50
新株予約権戻入益	11	174
その他	1	-
特別利益合計	45	225
特別損失		
減損損失	175	291
固定資産除却損	89	104
店舗閉店損失	63	197
その他	6	10
特別損失合計	335	603
税金等調整前四半期純利益	9,719	3,569
法人税、住民税及び事業税	2,128	1,168
法人税等調整額	1,013	△255
法人税等合計	3,142	912
四半期純利益	6,576	2,656
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,576	2,656

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	6,576	2,656
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,845	△1,390
その他の包括利益合計	3,845	△1,390
四半期包括利益	10,421	1,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,421	1,266
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準の適用指針が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。